Osaka University Knowledge Archive

Title	「日書」研究関連文献目録
Author(s)	工藤, 元男
Citation	中国研究集刊. 2000, 27, p. 1-13
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/61131
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

「日書」研究関連文献目録

工藤元男

序に代えて

1975年末、中国湖北省雲夢県睡虎地で発見された11号秦墓から秦律を主とする法制史料と占書の「日書」が出土してから、折しもちょうど四半世紀が経過した。70年代は秦簡も含めて中国古代の出土文字資料が相次いで出土したエポックメーキングな時代として記憶されている。そのような出土文字資料の出土状況の中で、睡虎地秦簡の出土以後も秦代および先秦の法制史料や「日書」のような宗教関係資料が引き続き出土してことに注目される。とくに「日書」について言えば、1978年、湖北省江陵九店公社磚瓦廠で発見された56号墓出土の「日書」は、年代が戦国晩期早段で、楚系文字で書かれている。秦が南郡を置いたのは、『史記』巻15六国年表によれば秦昭王29年（前278)、すなわち楚頃襄王21年である。したがってこの九店56号東周墓の「日書」は南郡開置直前のものとみなされ、現在のところ最古の「日書」である。それ以前の楚墓の宗教関係副葬品としてはいわゆる「卜筮祭祷簡」があり、江陵望山一号墓、江陵天星観一号墓、荊門包山二号墓、江陵秦家嘴一号墓・一三号墓・九九号墓から出土している。そのためこの「卜筮祭祷簡」から「日書」への継承関係に関する宗教史的研究、またこのような宗教関係文書を副葬する葬俗に対する社会史的研究は今後いっそう重要になりつつあり、さらにこれまでの秦簡研究に加えて楚簡研究がますます重要な研究課題となるであろう。本稿はこうした「日書」研究の新たな状況を踏まえて、これまでの秦簡「日書」を中心とする「日書」研究を総括し、今後の楚簡「日書」のさらなる出土に備えるために作成したものである。

凡例

一、本稿で取り上げる文献は、戦国～秦漢時代までの「日書」に関する研究論文および専著であり、発掘簡報や発掘報告書およびテクストは取り上げない。

二、本稿はあくまで日本在住の研究者に提供するものなので、そのため排列順番は日本語論文を先にし、その後に漢語論文（名前は漢音順）、最後にそれ以外の言語で書かれたものを排列している。

三、必ずしも「日書」を専論としたものでなくとも、論著の中で「日書」の内容に対して一定の議論を展開しているものについては、取り上げた。

〔一九八〇年〕

曽憲通「楚月名初探—兼談昭固墓竹簡的年代問題」(『中山大学学報—哲社版—』1980年第1期。後に『古文字研究』第5輯、1981、再録)

〔一九八一年〕

平勢隆郎「“楚暦”小考—対《楚月名初探》的管見」(『中山大学学報』1981年第2期)

于豪亮「秦簡《日書》記時記月諸問題」(『雲夢秦簡研究』所収、中華書局、1981。後に『于豪亮学術文存』中華書局、1985、再録)

曽憲通「楚月名初探—兼談昭固墓竹簡的年代問題」(『古文字研究』第5輯、1981)

梅祖麟「古代楚方言中“夕（桀）”字的詞義和語源」(『方言』1981年第3期)

〔一九八二年〕

饒宗頤・曽憲通『雲夢秦簡日書研究』(中文大学出版社、1982)

〔一九八三年〕

饒宗頤「秦簡日書中「夕」(桀）字含義的商榷」(『中国語言学報』1983年第1期)

李学勤「論睡虎地秦簡与馬王堆帛書中的数術書」(Prepared for the ACLS Workshop on Divination and Portent Interpretation in Ancient China, June 20-July 2, 1989, University of California, Berkeley. Robin D. S. Yates, THE LUNAR LODGES (HSIU) IN THE SHUI-HU-TIDIVINATION TEXTS.)

〔一九八五年〕

小南一郎「大地の神話—鯀・禹伝説原始—」(『古史春秋』第2号、1985)

何幼琦「論楚国之暦」(『江漢論壇』1985年第10期)

李学勤「睡虎地秦墓竹簡『日書』与秦・楚社会」(『江漢考古』1985年第4期。同氏著『簡帛佚籍与学術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録)

DONALD J. HAPRPER. "A Chinese Demonography of the Third Century B.C." *Harvard Asian Journal Studies* 45, 2(1985)

〔一九八六年〕

太田幸男「睡虎地秦墓竹簡『日書』にみえる『室』『戸』『同居』について」(『東洋文化研究所紀要』第99冊、1986)

工藤元男「中国古代の占い」(『東書』125、東京書籍、1986)

工藤元男「睡虎地秦墓竹簡『日書』について」(『史滴』第7号、1986。後に『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』創文社、1998、改題再録)

林　克「『素問』標本病伝体論の時刻制度」(『漢方研究』9、1986)

饒宗頤「秦簡中的五行説与納音説」(『古文字研究』14、1986。後に『饒宗頤史学論著選』上海古籍出版社、1993、再録)

曽憲通「秦簡日書歳篇疏証」(中山大学中文系主編『古文字学与語言学論集』所収、中山大学出版部、1986、原載前掲『雲夢秦簡日書研究』)

《日書》研読班「日書：秦国社会的一面鏡子」(『中国秦漢史研究会通訊』1986年第3期)

日書講読班「日書：秦国社会的一面鏡子」(『文博』1986年第5期)

林剣鳴(林世景訳)「中国の木簡の出土とその研究の近況」(『史滴』第7号、1986)

林富士「私釈睡虎地秦簡中的『癘』与『定殺』」(『史原』第15期、1986)

MARC KALINOWSKI. "LES TRAITES DE SHUIHUDI ET L'HEMEROLOGIE CHINOISE A LA FIN DES ROYAUMES-COMBATTANTS." *T'oung Pao* LXXNII(1996)

〔一九八七年〕

大櫛敦弘「雲夢秦簡『日書』にみえる困について」(『中国―社会と文化―』2、1987)

工藤元男「二十八宿占い(1)―秦簡『日書』劄記―」(『史滴』第8号、1987。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)

王勝利「《雲夢秦簡日書初探》商榷」(『江漢論壇』1987年第11期)

張聞玉「雲夢秦簡《日書》初探」(『江漢論壇』1987年第4期)

李曉東・李曉芬「従《日書》看秦人鬼神観及秦文化特徴」(『歴史研究』1987年第4期)

林剣鳴「従秦人的価値観看秦文化特点」(『歴史研究』1987年第3期)

林富士「試釈睡虎地秦簡《日書》中的“夢”」(『食貨』復刊第17巻第3-4期、1987)

〔一九八八年〕

工藤元男「埋もれていた行神―主として秦簡『日書』による―」(『東洋文化研究所紀要』第106冊、1988。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)

工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』より見た法と習俗」(『木簡研究』10号、1988)

工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』の史料的可能性」(福井重雅代表『東アジア史上の国際関係と文化交流―昭和61・2年度科研費総合研究(A)研究成果報告書―』所収、1988)

工藤元男『中国古代文明の謎』(光文社文庫、1988)

好並隆司「雲夢秦簡日書小論」(横山英他編『中国社会史の諸相』所収、勁草書房、1988)

王桂鈞「《日書》所見早期秦俗発微―信仰・習尚・婚俗及貞節観」(『文博』1988年第3・4期)

王子今「秦簡《日書》交通文化史料研究」(中国秦漢史研究会第4届年会暨学術討論会論文、1988)

王勝利「関於楚国暦法的建正問題」(『中国史研究』1988年第2期)

王勝利「《雲夢秦簡〈日書〉初探》商榷」(『江漢論壇』1987年第11期)

賀潤坤「従雲夢秦簡《日書》看秦国民間的衣食住行」(中国秦漢史研究会第4屆年会暨学術討論会論文、1988)

賀潤坤「従《日書》看秦国的穀物種植」(『文博』1988年第3期)

呉小強「試論秦人婚姻家庭生育観念—秦簡《日書》社会学研究」(中国秦漢史研究会第4屆年会暨学術討論会論文、1988)

張銘洽「秦簡《日書》"建除法"試析」(中国秦漢史研究会第4屆年会暨学術討論会論文、1988)

張銘洽「雲夢秦簡〈日書〉占卜術初探」(『文博』1988年第3期)

潘嘯竜「従《秦楚月名対照表》看屈原的生辰用暦」(『江漢論壇』1988年第2期)

楊巨中「《日書・星》釈議」(『文博』1988年第3期)

林剣鳴「曲径通幽処高楼望路時—評介当前簡牘《日書》研究状況」(『文博』1988年第3期)

〔一九八九年〕

工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』より見た秦・楚の二十八宿占い—先秦社会における文化の地域性と普遍性をめぐって—」(『古代』第88号、1989。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)

酒井忠夫「反閉について—日・中宗教文化交流史に関する一研究」(『立正史学』第66号、1989)

成家徹郎(蓑嵐訳)「中国古代的占星術和古星盤」(『文博』1989年第6期)

賀潤坤「雲夢秦簡所反映的秦国漁猟活動」(『文博』1989年第3期)

賀潤坤「従雲夢秦簡《日書》看秦国的六畜飼養」(『文博』1989年第6期)

賀潤坤「中国最早的相馬法—雲夢秦簡〈日書・馬〉篇」(『西北農業大学学報』1989年第3期)

何双全「天水放馬灘秦簡綜述」(『文物』1989年第2期)

何双全「天水放馬灘秦簡甲種《日書》考述」(『秦漢簡牘論文集』所収、甘粛人民出版社、1989)

呉小強「試論秦人婚姻家庭生育観念—秦簡《日書》社会学研究—」(『中国史研究』1989年第3期)

呉小強「秦人生育意願初探」(『江漢論壇』1989年第11期)

秦簡整理小組「天水放馬灘秦簡甲種《日書》釈文」(『秦漢簡牘論文集』所収、甘粛人民出版社、1989)

張銘洽「秦簡《日書》"玄戈"篇解析」(『秦漢史論叢』第4輯所収、西北大学出版社、1989)

〔一九九〇年〕

工藤元男 The CH'in Bamboo Strip Book of Divination (Jih-syu) and CH'in Legalism, *ACTA ASIATICA Bulletin of the Institute of Easter n Culture*, 58(1990)

工藤元男「雲夢睡虎地秦墓竹簡『日書』と道教的習俗」(『東方宗教』第76号、1990。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)

王子今『中国古代交通文化』(三環出版社、1990)

王勝利「再談楚国暦法的建正問題」(『文物』1990年第3期)

賀潤坤「従雲夢秦簡《日書》看秦国的農業水利等有関状況」(『江漢考古』1992年第4

呉小強「《日書》与秦社会風俗」(『文博』1990年第2期)

呉小強「従秦簡看秦俑的社会内涵」(『文博』1990年第5期)

鄧文寛「比《歩天歌》更古老的通俗識星作品—《玄象詩》」(『文物』1990年第3期)

鄧文寛「天水放馬灘秦簡《月建》応名《建除》」(『文物』1990年第9期)

李学勤「放馬灘簡中的志怪故事」(『文物』1990年第4期。後に同氏著『簡帛佚籍与学術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録)

劉信芳「秦簡《日書》与『楚辞』類徴」(『江漢考古』1990年第1期)

劉信芳「《天水放馬灘秦簡秦簡綜述》質疑」(『文物』1990年第9期)

〔一九九一年〕

大庭脩他「書評 甘粛省文物考古研究所編『秦漢簡牘論文集』」(『史泉』第73号、1991)

工藤元男「日書の風景—データベース化による先秦社会の諸相—」(『古代文化』第43巻第8号、1991。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)

成家徹郎(王維坤訳)「睡虎地秦簡《日書・玄戈》」(『文博』1991年第3期)

賀潤坤「従雲夢秦簡看秦国吏治」(中国秦漢史研究会第5届年会暨国際学術討論会論文、1991)

賀潤坤「秦俑研究応与秦簡進一歩結合」(『秦陵秦俑研究動態』1991年第1期)

賀潤坤「論秦民間鬬毆之風与秦律禁止鬬毆的歴史作用」(『秦陵秦俑研究動態』1991年第2期)

賀潤坤「雲夢秦簡《日書》“寓人”“寄者”“寄人”身份考」(『文博』1991年第3期)

呉小強「論秦人宗教思維特徴—雲夢秦簡《日書》的宗教学研究」(中国秦漢史研究会第5届年会暨国際学術討論会論文、1991)

呉小強「従雲夢秦簡看戦国秦代人口再生産類型」(『西北大学学報』1991年第2期)

饒宗頤「論天水秦簡中之『中鳴』、『後鳴』与古代以音律配合時刻制度」(中国簡牘学国際学術研討会論文、1991。後に『簡帛研究』第2輯、1996、および『簡牘学研究』第2輯、1997、収録)

曽憲通「秦漢時制芻議」・「居延新簡“刑徳七舎”疏証(提要)」(中国簡牘学国際学術研討会論文、1991。後、『簡帛研究』第2輯、1996、収録)

陳守亭「由『秦俗多禁忌』論漢簡資料中極少日書禁忌問題」(中国簡牘学国際学術研討会論文、1991。後『簡牘学報』第14期、1992、収録)

楊巨中(工藤元男訳注)「『日書』より見た秦人の神々の観念とその占いの方法について」(滝口宏編『古代探叢Ⅲ—早稲田大学考古学会創立40周年記念考古学論集—』所収、早稲田大学出版部、1991)

李学勤「睡虎地秦簡中的《艮山図》」(『文物天地』1991年第4期。後、同氏著『簡帛佚籍与学術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録)

李　零「“式”与中国古代的宇宙模式」(『中国文化』1991年第4期)

劉信芳「《日書》四方四維与五行浅説〔提要〕」(中国簡牘学国際学術研討会論文、1991)

劉信芳「雲夢秦簡《日書・馬》篇試釈」(『文博』1991年第4期)

林剣鳴「秦漢簡牘《日書》与官吏〔提要〕」(中国簡牘学国際学術研討会論文、1991)

林剣鳴「秦簡《日書》校補」(『簡牘学報』第13期、1991。後『文博』1992年第1期、収録)

林剣鳴「秦漢政治生活中的神秘主義」(『歴史研究』1991年第4期)

〔一九九二年〕

工藤元男「禹の変容と五祀」(『中国―社会と文化』第7号、1992。『睡虎地新簡よりみた秦代の国家と社会』に改題再録)

工藤元男「雲夢秦簡与《日書》」(『秦漢史論叢』第5輯、法律出版社、1992)

鶴間和幸「古代中華帝国の統一法と地域―秦帝国の法とその虚構性―」(『史朝』新30号、1992)

王維坤「睡虎地秦簡《日書・玄戈》再析」(『陳直先生紀念文集』所収、西北大学出版社、1992)

賀潤坤「従雲夢秦簡《日書》看秦国的林業・桑麻業」(『江漢考古』1992年第4期)

呉小強「論秦人宗教信仰的層次性」(『簡牘学報』第14期、1992)

呉小強「論秦人宗教思維特徴―雲夢秦簡《日書》的宗教学研究」(『江漢考古』1992年第1期)

呉小強「《日書》所見秦人之生死観」(『秦陵秦俑研究動態』1992年第2期)

呉小強「論秦人的多神崇拝特点―雲夢秦簡《日書》的宗教学研究―」(『文博』1992年第4期)

曽憲通「秦漢時制芻議」(『中山大学学報―社科版―』1992年第4期)

張銘洽　「《日書》中的二十八宿問題」(『秦陵秦俑研究動態』1992年第2期)

陳守亭「由〔秦俗多禁忌〕論漢簡資料中極少日書禁忌問題」(『簡牘学報』第14期、1992)

劉楽賢「五行三合局与納音説—読饒宗頤先生《秦簡中的五行説与納音説》」(『江漢考古』1992年第1期)

劉信芳「秦簡中的楚国《日書》試析」(『文博』1992年第4期)

林剣鳴「秦簡《日書》校補」(『文博』1992年第1期)

〔一九九三年〕

工藤元男「雲夢秦簡「日書」の研究」(平成3・4年度科研費(一般研究C)研究成果報告書、1993)

工藤元男(莫枯訳)「雲夢秦簡《日書》所見法与習俗」(『考古与文物』1993年第5期)

坂出祥伸「災いを避ける歩行術=禹歩」(同氏著『気と養生』所収、人文書院、1993)

王子今「雲夢睡虎地秦簡〔日書〕所反映的秦楚交通状況」(『国際簡牘学会刊』第1号、蘭台出版社、1993)

王子今「睡虎地秦簡《日書》秦楚行忌比較」(『秦文化論叢』第2輯、西北大学出版社、1993)

賀潤坤「雲夢秦簡〔日書・門〕図初探」(『簡牘学報』第15期、1993)

賀潤坤「従雲夢秦簡看秦的吏治」(『西安石油学院学報—社科版』1993年第1期)

金良年「雲夢秦簡《日書》“啻”篇研究」(『中華文史論叢』51、1993)

呉小強「従〔日書〕看秦人的生与死」(『簡牘学報』第15期、1993)

張銘洽「〔史記・日者列伝〕小察」(『簡牘学報』第15期、1993)

陳守亭「睡虎地秦簡〔日書〕歳星禁忌之研究」(『国際簡牘学会会刊』第1号、蘭台出版社、1993)

鄭　剛「論睡虎地秦簡日書的結構特徴」(『中山大学学報—哲社版—』1993年第4期)

蒲慕州「睡虎地秦簡〔日書〕的世界」(『中央研究院歴史語言研究所集刊』第62

本第4分、1993)

李学勤「睡虎地秦簡《日書》盗者章研究」(『慶祝饒宗頤教授七十五歳論文集』所収、香港中文大学中国文化研究所、1993。後、同氏著『簡帛佚籍与学術史』時報文化出版企業有限公司、1994、改題再録)

劉楽賢「睡虎地秦簡日書的内容、性質及相関問題」(『中国社会科学院研究生院学報』1993年第1期)

劉楽賢「睡虎地秦簡《日書》"詰篇"研究」(『考古学報』1993年第4期)

劉楽賢「睡虎地秦簡《日書》"反支篇"及其相関問題」(『簡帛研究』第1輯、法律出版社、1993)

劉信芳「《日書》四方四維与五行浅説」(『考古与文物』1993年第2期)

林剣鳴「《睡》簡与《放》簡《日書》比較研究」(『文博』1993年第5期)

林剣鳴「従放馬灘《日書》(甲種)再論秦文化的特点」(『簡帛研究』第1輯、法律出版社、1993)

〔一九九四年〕

工藤元男「禹歩・天罡」(坂出祥伸責任編集『「道教」の大事典—道教の世界を読む—』所収、新人物往来社、1994)

工藤元男「睡虎地秦簡『日書』における病因論と鬼神の関係について」(『東方学』第88輯、1994)

王子今「睡虎地秦簡《日書》所見行帰宜忌」(『江漢考古』1994年第2期)

賀潤坤「従雲夢秦簡《日書》看秦民間的災変与救災」(『江漢考古』1994年第2期)

沈頌金「中日両国学者研究秦簡《日書》述評」(『中国史研究動態』1994年第9期)

劉楽賢『睡虎地秦簡日書研究』(文津出版社、1994)

劉楽賢「睡虎地秦簡日書"玄戈篇"新解」(『文博』1994年第4期)

劉楽賢「睡虎地秦簡日書註釈商権」(『文物』1994年第10期)

〔一九九五年〕

大形　徹「「鬼」系の病因論—新出土資料を中心として—」(『大阪府立大学紀要

（人文・社会科学）』第43巻、1995）

大川俊隆「雲夢秦簡『日書』「詰篇」初考」（『大阪産業大学論集（人文科学編）』84、1995）

尹在碩「睡虎地秦簡《日書》所見“室”的結構与戦国末期秦的家族類型」（『中国史研究』1995年第3期）

賀潤坤「從雲夢秦簡《日書》的良・忌日看《氾勝之書》的五穀忌日」（『文博』1995年第1期）

賀潤坤「雲夢秦簡《日書》所反映的秦国社会階層」（『江漢考古』1995年第1期）

胡文輝「居延新簡中的《日書》残文」（『文物』1995年第4期）

張　強「近年来秦簡《日書》研究評介」（『文博』1995年第3期）

劉楽賢「睡虎地秦簡日書“人字篇”研究」（『江漢考古』1995年第1期）

劉楽賢「睡虎地秦簡日書“人字篇”補釈」（『江漢考古』1995年第2期）

〔一九九六年〕

工藤元男「暦注占い」（『月刊しにか』1996年7月号）

工藤元男「簡帛資料からみた楚文化圏の鬼神信仰」（『日中文化研究』10、勉誠社、1996）

工藤元男（徐世虹・郗仲平訳）「禹形象的改観和五祀」（『簡帛研究訳叢』第1輯、湖南出版社、1996）

賀潤坤「雲夢秦簡《日書》“行”及有関秦人社会活動考」（『江漢考古』1996年第1期）

賀潤坤「從雲夢秦簡〔日書〕看秦民居建築的概況」（『国際簡牘学会会刊』第2号、蘭台出版社、1996）

胡文輝「《日書》起源考—兼談春秋戦国時期的暦法問題」（『簡帛研究』第2輯、1996）

尚民傑「從《日書》看十六時制」（『文博』1998年第2期）

饒宗頤「論天水秦簡中之“中鳴”・“後鳴”与古代以音律配合時制制度」（『簡帛研究』第2輯、1996）

張　強「近年来秦簡《日書》研究評介」(『簡帛研究』第2輯、1996)

陳松長「帛書《陰陽五行》与秦簡《日書》」(『簡帛研究』第2輯、1996)

李解民「秦漢時期的一日十六時制」(『簡帛研究』第2輯、1996)

劉楽賢「睡虎地秦簡《日書》中的“往亡”与“帰忌”」(『簡帛研究』第2輯、1996)

劉信芳「《日書》駆鬼術発微」(『文博』1996年第4期)

〔一九九七年〕

何双全「漢簡《日書》叢釈」(『簡牘学研究』第2輯、甘粛人民出版社、1996)

尚民傑「雲夢《日書》与五行学説」(『文博』1997年第2期)

饒宗頤「論天水秦簡中之「中鳴」・「後鳴」与古代以音律配合時制制度」(『簡牘学研究』第2輯、甘粛人民出版社、1997)

陳　偉「新発表楚簡資料所見的記時制度」(『第三届国際中国古文字学検討会論文集』香港中文大学、中国文化研究所、中国語言及文学系、1997)

陳　偉「九店楚日書釈文校読与幾個相関問題」(『人文論叢』1997年巻、武漢大学出版社、1997)

陳松長「九店楚簡釈読札記」(『第三届国際中国古文字学検討会論文集』香港中文大学、中国文化研究所、中国語言及文学系、1997)

劉信芳「九店楚簡日書与新簡日書比較研究」(『第三届国際中国古文字学検討会論文集』香港中文大学、中国文化研究所、中国語言及文学系、1997)

〔一九九八年〕

工藤元男『睡虎地秦簡よりみた秦代の国家と社会』(創文社、1998)

工藤元男「秦簡研究から浮上した禹の行方をめぐって」(『創文』401、1998)

高村武幸「九店楚簡日書の性格について—睡虎地日書・放馬灘日書との比較を通じて—」(『明大アジア史論集』第3号、1998)

村上陽子「穀物の良日・忌日」(『明大アジア史論集』第3号、1998)

陳　偉「九店楚日書校読及其相関問題」(『人文論叢』1998年巻、武漢大学出版社、2000)

賀潤坤「従雲夢秦簡看秦社会有関捕盗概況」(『簡帛研究』第3輯、広西教育出版社、1998)

呉小強「新簡《日書》与秦漢時期的生殖文化」(『簡帛研究』第3輯、広西教育出版社、1998)

施謝捷「簡帛文字考釈札記」(『簡帛研究』第3輯、広西教育出版社、1998)

尚民傑「雲夢《日書》星宿記日探討」(『文博』1998年第2期)

劉樂賢「九店楚簡日書補釈」(『簡帛研究』第3輯、広西教育出版社、1998)

〔一九九九年〕

王震亜「甘粛出土的秦漢簡牘」(同氏著『竹木春秋—甘粛秦漢簡牘』(甘粛教育出版社、1999))

〔二〇〇〇年〕

尚民傑「《日書》“男女日”与“生子”」(『文博』2000年第1期)